

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月31日 (2012.5.31)

【公開番号】特開2011-39307(P2011-39307A)

【公開日】平成23年2月24日 (2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-186835(P2009-186835)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

C 0 9 B 47/04 (2006.01)

C 0 9 B 25/00 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 B 5/22

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/004 5 0 4

C 0 9 B 47/04

C 0 9 B 25/00 B

C 0 9 B 67/20 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月11日 (2012.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

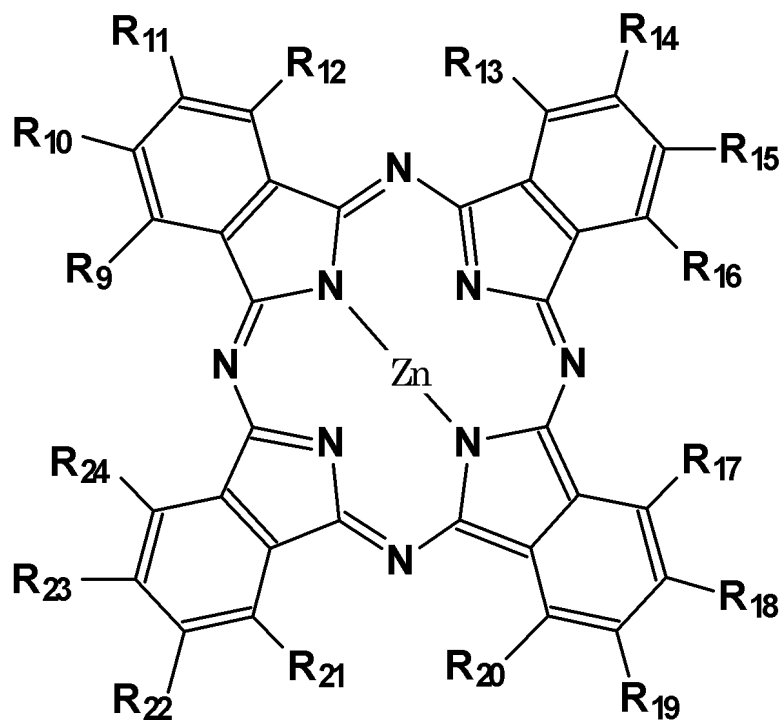
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも透明樹脂、その前駆体またはそれらの混合物からなる着色剤担体、着色剤（A）、及び分散剤（B）を含有するカラーフィルタ用着色組成物において、該着色剤（A）が下記一般式（1）で示されるハロゲン化亜鉛フタロシアニン顔料を含み、かつ該分散剤（B）が下記一般式（2）で示される色素誘導体の金属塩を含むことを特徴とするカラーフィルタ用着色組成物。

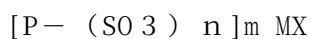
一般式（1）：

【化 1】



(R 9 から R 2 4 はそれぞれ独立に水素原子もしくはハロゲン原子である。)

一般式 (2) :



(Pは有機顔料母体骨格残基を表し、Mはアルカリ金属を除く金属イオン。nは1から13の整数で、mとxは一般式(3)を満たす整数。)

一般式 (3) :

$$n \times m = \text{イオンMの価数} \times x$$

【請求項 2】

分散剤 (B) が、さらに樹脂型分散剤を含有することを特徴とする請求項 1 記載のカラーフィルタ用着色組成物。

【請求項 3】

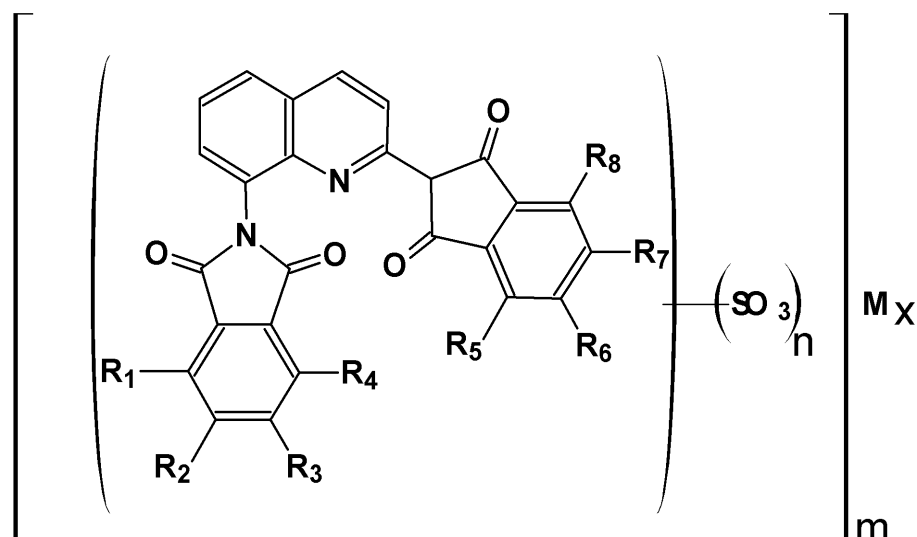
樹脂型分散剤が、塩基性の樹脂型分散剤であることを特徴とする請求項 2 記載のカラーフィルタ用着色組成物。

【請求項 4】

分散剤 (B) が下記一般式 (4) で示される色素誘導体の金属塩を含むことを特徴とする請求項 1 から 3 いずれかに記載のカラーフィルタ用着色組成物。

一般式 (4) :

【化 2】



(Mはアルカリ金属を除く金属イオン。nは1から13の整数で、mとxは一般式(3)を満たす整数。R₁からR₈はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、もしくはスルホン酸基である。)

【請求項5】

色素誘導体の金属塩の金属イオンが、アルミニウムイオンであることを特徴とする請求項4に記載のカラーフィルタ用着色組成物。

【請求項6】

さらに着色剤(A)が、C. I. ピグメント イエロー 138、C. I. ピグメント イエロー 150、C. I. ピグメント グリーン7、およびC. I. ピグメント グリーン36からなる群から選ばれる1種以上を含むことを特徴とする請求項1～5いずれかに記載のカラーフィルタ用着色組成物。

【請求項7】

少なくとも1つの赤色フィルタセグメント、少なくとも1つの緑色フィルタセグメント及び少なくとも1つの青色フィルタセグメントを備えるカラーフィルタにおいて、少なくとも1つの緑色フィルタセグメントが、請求項1～6いずれかに記載のカラーフィルタ用着色組成物により形成されてなるカラーフィルタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

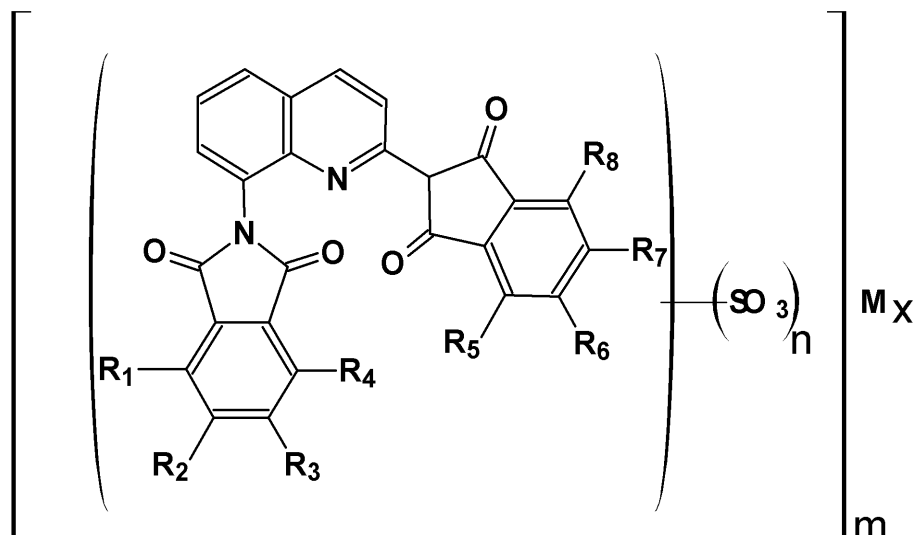
【補正の内容】

【0018】

分散剤(B)が下記一般式(4)で示される色素誘導体の金属塩を含むことを特徴とする前記カラーフィルタ用着色組成物に関する。

一般式(4)：

【化 2】



(Mはアルカリ金属を除く金属イオン。nは1から13の整数で、mとxは一般式(3)を満たす整数。R1からR8はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、もしくはスルホン酸基である。)

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

(着色組成物2～5の作製)

以下、樹脂型分散剤溶液を表1に示す分散剤溶液に置き換えた以外は、着色組成物3と同様にして、着色組成物2～5を作製した。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0135

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0135】

コントラスト比(CR)、経時コントラスト比(CR)変化率、PB前後のコントラスト比の変化率、色特性(明度)、粘度、経時増粘率、経時コントラスト比変化率の結果を表6、表7に示す。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0138

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】削除

【補正の内容】